

■地域公共交通調査事業の実施に関する計画

1. 当該地域の公共交通の概況・問題点

武豊町は、面積 25.82k m²、人口 42,408 人（H22 年国勢調査）で、名鉄河和線の 3 駅、JR 武豊線 1 駅の鉄軌道があるが、路線バスについては運行されていないため、住民から公共交通サービスの提供に対する要望、公共交通空白問題を抱えていた。

バスによる地域公共交通サービスの提供については、平成 15 年に 3 ヶ月間の通勤ターバンを使用した公共施設を結ぶ巡回バスの試行運行事業を実施したが、十分な利用がなかったため、本格運行に至らなかった。

しかし、少子高齢化・人口減少社会に対応した生活交通の確保は不可欠であり、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の施行等を契機に、地域公共交通会議を設置し、武豊町地域公共交通総合連携計画を策定し、コミュニティバスの試行運行を平成 22 年 7 月 27 日及び、事前予約制バス（タクシー）を平成 23 年 9 月 1 日より試行運行を開始した。

地域公共交通総合連携計画で示した交通システムの狙いは、二つの鉄軌道を「広域幹線系統」として捉え、中心市街地の名鉄知多武豊駅を中心に、町内の主要施設と市街化区域をカバーするループ型のコミュニティバス路線を「地域内幹線系統」としてネットワークを構築している。また、コミュニティバス・鉄軌道の利用促進と市街化調整区域等をカバーするため、事前予約制・区域運行の乗合タクシーを地域内幹線系統に接続させる形で平成 23 年 9 月より構築した。

こうした段階的にネットワークを構築することで、交通空白地の解消とお年寄り等住民が安全に暮らせ、気軽に移動できる生活の足を確保することを目指している。

さらに、地域公共交通総合連携計画をふまえ、武豊町地域公共交通会議が事業主体として試行運行している、コミュニティバスを「地域内フィーダー系統」として位置づけた「生活交通ネットワーク計画」を平成 24 年 6 月に策定し、本格運行を行っている

地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）の補助対象路線であるコミュニティバスの利用動向は、これまで順調に増加しているものの、4 ルートを個別に確認するとルート毎に利用状況に差があり、一部ルートでは、利用が伸び悩んでいる状況にある。

2. 目指す交通計画と策定調査の必要性

これまで上記取組を行ってきたが、平成 22 年 3 月に策定した「地域公共交通総合連携計画」は来年度平成 27 年 3 月をもって計画期間を終了する予定で、来年度抜本的見直しに向けた基礎調査が必要とされている。

特に、コミュニティバスの 4 つルート単位毎に、利用状況や沿線住民の将来意向を確認し、それぞれ改編に向けた検討を行っていく必要がある。

そこで、地域公共交通調査事業を活用し、現在国の支援を受けている地域内フィーダー系統確保維持計画の来年度見直しを見据え、来年度地域公共交通総合連携計画を抜本的に見直しするために、本年度、「住民」「利用者」「関係者」のニーズを把握するための基礎調査を必要としている。

3. 事業の実施内容	
実施項目	実施内容
1. 現況調査	・上位関連計画、人口動向、コミュニティバスのルート別の利用実態等、現況調査を実施。
2. 町民ニーズ検討	・町民3,000名を対象とした郵送アンケート調査の実施。 ・地域ブロック単位で、事業状況の説明会を兼ねた、改善要望等のニーズ把握を行う。
3. 利用者ニーズ検討	・コミュニティバス、乗合タクシーの利用者に対するアンケート調査の実施。 ・事業満足度、改善点等のニーズ把握を行う。
4. 関係者ヒアリング調査	・交通事業者（バス、タクシー）、福祉関係者（老人福祉センター送迎バス事業）等に対するヒアリングを行い、将来的な事業見通しについて調整確認を行う。
5. 課題整理・対応方針の検討	・上記調査をふまえ、武豊町における地域公共交通に関する課題整理を行う。 ・また、当該課題に対する対応方針について検討を行う。
6. 協議会開催	・上記調査等を検討し、連携計画見直し等のための会議を開催する。

4. スケジュール				
実施項目	4月	9月	12月	3月
1. 現況調査		↔		
2. 町民ニーズ調査		↔		
3. 利用者ニーズ調査		↔		
4. 関係者ヒアリング調査			↔	
5. 課題整理・対応方針の検討			↔	
6. 協議会開催	↔		↔	↔